

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	MIRAIいりばる		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全員が有資格者であり、5年以上の経験者が半数以上在籍し支援の強化に繋がっている。	個別支援を重視し、職種別の意見を個別支援計画書の作成段階に落とし込み支援に生かしている。 支援プログラムに掲載されている5領域を個別でアセスメントを取り支援に生かしている。 理学療法士による専門的支援実施を開始。	個別支援や支援プログラムを関連性を強くし、療育に繋げ未就学から小学校へまた地域へ移行の際に困らないよう取り組む。 専門的支援実施の目線も取り入れ、療育の充実化を図る。
2	園外活動が多く、色々な場面を体験し成長につながる経験を得る事が出来る。	外出先での適切な行動を取れるよう声掛けし、就学に向けて意識を向ける支援を行っている。	本児の自立性の向上を図り、事業所から地域と就学に繋がる支援とを充実する。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	前年度と同じくASDの重い児童が少ない、該当児童がいないので職員の学びのチャンスが少ない。	開所時から契約した児童のほとんどがグレーゾーンが多く、就学も特別支援学校の児童が少ない。	研修等も必要だが、直接支援ができるようグループ内の他事業へ研修も考えている。
2			
3			

